

特色ある区づくり事業「じゅんさい池みらいプロジェクト」

第7回 じゅんさい池みらい会議 会議概要

開催日時	令和4年3月7日（月）午後2時30分～3時40分
会 場	東区プラザ 音楽練習室2
出席委員	五十嵐委員、大坂委員、佐藤委員、長谷川委員、服部委員
事務局	地域課長ほか同課より3名、区民生活課長ほか同課より1名、建設課長ほか同課より1名
概 要	<p>【報告】 本プロジェクトの工程の確認及び前回会議の振り返りをした後、じゅんさい池みらいプラン素案への市民意見募集結果について事務局より報告しました。</p> <p>【議事】 〔主な意見〕 ＜じゅんさい池みらいプラン案について＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プラン案の中の言葉遣いについて、やさしい表現を心掛けていることは伝わりますが、一部、硬い表現や行政的な表現があるように感じた。 ・P14の取り組みの主体と役割について、「市民（区民）」が現在○（△）が付いていない欄の取り組みに参画する可能性はないか。 ・P12に記載されている取り組みの方向性のいずれにも、“特に子どもや若い世代に・・・”と力を入れたい対象が明記されたことが良かった。 ・市民や地域に寄り添った内容のプラン案になっていると感じる。 ・やや文字量が多いように感じるが、行政計画の中ではやさしく分かりやすいものになったと思う。 ・ぜひ、ホームページにも掲載して誰でもダウンロードできるようにした方がよい。 ・プランの配布先はどのように考えているか。 →（回答）印刷部数は500部。地域や関係団体のほか、今後取り組むネットワークづくりに関わってもらう人や団体、催しの参加者など、じゅんさい池に興味を示していただける方を中心に配布を考えている。 <p>＜じゅんさい池みらいプロジェクトの感想、今後への期待など＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・動画の製作に期待している。話題になるようなユーモアのある内容を期待する。 ・運営体制の構築は誰が主導するのか。また、プランの進行管理はどうするのか。

<p>概要</p>	<p>→（回答）きっかけづくりは区役所が行うつもり。自立運営できるまでの体制を構築するのが難しい課題だとも認識している。まずは、これまで環境保全活動に関わってきた地域や関係団体が連携するところからネットワークづくりを始めたい。</p> <p>プランの進行管理は、基本的には区役所が中心に行うが、地域や取り組みに参画する団体など実績や次の展開の進め方は調整しながら進めていきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 企業が潟の保全や利活用に参画していくケースは、他の潟ではあまり取り組まれていない。企業とうまく連携できれば、大きな特長、強みになると思うので期待したい。 ・ 福島潟では、学生を対象とした取り組みや SNS での発信などにも力を入れている。じゅんさい池とも連携していければ良いと思う。 ・ 小学校では、ipad を活用して調べたことをクイズ形式で発表する取り組みを行った。子どもたちから、保護者を始め地域の大人へ発信すると効果があるのではと感じた。今後も学校の取り組みを通して関わっていきたい。 ・ 個別の企業や団体ではなく、産業団体などにアプローチできると良いのではないかな。 ・ これまでの方法での情報発信では、あまり効果が上がらないと思う。新たなアイデアや若い世代の参画を期待する。
-----------	---